

公表: 令和6年 3月 11日

事業所名

Tomo de coco

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6				法令を遵守したスペースを確保しております。
	② 職員の配置数は適切であるか	2	4			法令で必要とされる配置数に加え、保育士を1名以上配置しております。その中で、1対1での対応が必要なお子様と他のお子様へのケアバランスを保つため、スタッフの配置や柔軟なシフト調整を検討し、全体的な対応の質向上を目指しております。
	③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	5	1		・構造上仕方ないが、活動に注目・集中できるよう、視覚的な情報を減らせるように、環境調整したい。 ・色鉛筆にケースごとに違うマスキングテープをはることで、同じテープがある場所に返すことを視覚的に分かりやすくした。	事業所室内を左右で静と動のスペースを分け、カーペットを色分けすることで構造化を図っております。また、バリアフリー構造になっております。
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	6			・光の加減など調節し、配慮されたクラスになっている。	毎日の清掃・消毒により、清潔維持に努めております。また、机や椅子などお子様が触れる箇所の消毒を随時行っております。
業務改善	⑤ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	4	2		・年2回人材育成評価制度を取り入れ振り返りを行っている。	朝のミーティング、帰りの申し送りなどスタッフ間で情報共有をしております。また、定期的にケース会議も実施しております。それに加え、管理者とスタッフで定期的に面談を行い、振り返りや目標設定をしております。
	⑥ 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	4	2			保護者様に事業所評価アンケートを実施し、事業所の質の向上に努めております。
	⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	4	1	1		当社ホームページにて公開しております。
	⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	3	2	1		現在は保護者様・社内の2社評価となっております。第三者による外部評価については、今後必要に応じて実施を検討しております。
	⑨ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6			・外部から講師を呼び、様々なジャンルの研修をしている。	年間研修計画を策定し、職員の質の向上に努めております。また、外部講師やトモデココ顧問による研修の機会も設けております。
⑩ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	5	1		・子どもや保護者の負担になりすぎない目標設定をしたり、子どもが今できること、できないこと必要なことを分析し、明確にするようにしている。	計画期間ごとにアセスメントを取り、児童発達支援計画を作成しております。	

適切な支援の提供	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5	1		統一したアセスメントツールを使用しております。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	5	1		・子どもが必要な支援を選択するのはもちろんだが、楽しんで取り組めるような内容をその子どもに合わせて設定するように心がけている。 お子様に応じた項目を設定し、計画を作成しております。
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	6			・頻繁に職員間や個人ファイルで支援目標を確認し、療育や関わり方に取り入れるようにしている。 計画に応じた支援を行っております。
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5	1		・1人で悩まずに意見を出し合って、子どもに合った楽しめるプログラムを全員で考えるようにしている。 職員間で話し合いをした上で活動プログラムを立案しております。
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	4	2		・プログラムを固定化することで、子どもたちが療育にじっくり取り組めるようにしている。 ・おおまかなプログラム内容は同じでも、良いかも、効果的かもと思うものは試してみて、その都度ブラッシュアップしていている。 お子様の発達状況に応じて、必要な活動プログラムを追加・修正しております。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	5	1		1対1による個別指導、他者とのかわりの中で成長を促す集団指導を適切に組み合わせた療育を展開しております。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4	2		朝のミーティングを行い、職員間での情報共有を行っております。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4	2		・毎日、ミーティングを行っている。 ・支援計画や日々の事務作業、送迎等で毎回必ず打ち合わせがしっかりできているわけではないが、気づいたことはすぐに職員間に伝えるようにしている。 お子様が帰った後、職員間での情報共有を行っております。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6			・毎日活動記録を記入している。 毎回指導記録をとることで指導内容や方法を検討しております。
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	5	1		定期的にモニタリングを行い、計画の見直し・修正を行っております。
関係機関や保護者との連携関係	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	1	5		感染症予防のため、現在は電話での報告を実施しておりますが、徐々に対面での報告も進めております。
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	2	4		母子保健センターへ事業所の特徴や取り組みについて説明させていただき、理解していただけるよう努めております。
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	1	5		現在受け入れがございません。
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	2	4		現在受け入れがございません。

機関や保護者との連携	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	4	2			移行支援に関する具体的な事例はまだございませんが、今後必要があれば積極的に取り入れてまいります。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	3	3			移行支援に関する具体的な事例はまだございませんが、今後必要があれば積極的に取り入れてまいります。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	2	3	1		相談支援員とのモニタリングの際などに相談・助言を受けております。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	1	3	2		保育所等との並行保育により、障がいのないお子様と共に活動する機会が保たれております。
	29	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども子育て会議等へ積極的に参加しているか		4	2		現在は協議会への参加などはございません。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6				保護者様のお迎え時、お子様の状況をお伝えしております。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか	1	3	2		事業所内のペアレント・トレーニングは行っておらず、県内関係機関の主催するペアレント・トレーニング研修に参加できるよう調整してまいります。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6				運営規程・利用者負担等について契約時にご説明させていただいております。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	6				ガイドラインに基づいた計画作成を行い、保護者様からの同意を得ております。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5	1			保護者様が送迎される場合は、送迎時に活動の様子や子育ての悩み等に対する相談に応じております。また、保護者様のご希望により事業所内で相談支援を行っております。
保護者への説明責任等	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	6			・Tomoに育つ会（保護者会）を開催し保護者同士の話し合いの場を提供している。	保護者様のアンケートを基に第1回・2回と「Tomoに育つ会（保護者会）」を開催しております。年に2回実施していく方向でございます。開催後のアンケートをもとに、お母様だけにとどまらず、様々な保護者様が参加できるように運営してまいります。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6				個別相談のご申し出がございましたら、迅速に日時を設定し、適切に対応させていただいております。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6			・SNSを通じて療育の様子を発信している。	毎月お配りさせていただいている「Tomo de cocoだより」を始めofficial LINEやInstagram等のSNSで、引き続き活動やイベント情報、連絡事項の発信をまいります。
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	6				個人情報に記載された書類は鍵付き書庫に保管しております。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6			・SNSを通じて療育の様子を発信している。	特性に応じた視覚的なサポートや情報伝達手段を確保できるよう、状況を十分に把握に努めております。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	1	2	3		事業所内のイベントは、現段階では利用児童のみの参加となっておりますが、今後は地域のイベントにも積極的に参加していく予定です。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	5	1		・実際に避難場所に行ったり、お子さんの引き渡し訓練をしたい。	各種マニュアルを策定し、研修を実施しています。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	4	2		・地震・火災・不審者を想定し避難訓練を行っている。	火災訓練・地震・津波訓練を設定し、年2回以上の訓練を実施しております。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	4	2			すべてのお子様についてアレルギーの有無を確認し、指導時に該当する物質との接触が生じないように十分に注意を払っております。

④④	食物アレルギーのある子どもについて、示書に基づく対応がされているか 医師の指示に基づく対応がされているか	3	3		・事前に聞いているアレルギーについては気をつけるようにしている。	現在、該当する方がおられません。
④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6				ヒヤリハット事例が起こった際は、報告書を作成し、職員間で周知しています。
④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5	1		・虐待防止対策委員会を作り研修を行っている。	虐待防止マニュアルを作成し、年1回以上の研修を行っています。
④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	5	1		・身体拘束防止研修を行い職員間でも周知できている。	身体拘束防止の為のマニュアルを策定し、年1回以上の研修を行っています。

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。